

令和6年度射水市観光振興計画推進会議 議事録

- 1 開催日時：令和7年3月26日（水）10：00～11：00
- 2 開催場所：クロスベイ新湊2階 iCN ホール
- 3 出席者及び欠席者
 - (1) 委員
齋藤会長、牛塚副会長、明石委員、大藤委員、久々委員、源代委員、篠田委員、田中委員、寺井委員、中野委員、紅粉委員、向田委員、中川オブザーバー
 - (2) 事務局
産業経済部長、産業経済部次長、観光まちづくり課長、観光まちづくり課長補佐、観光振興係員
 - (3) 欠席者
木村委員（代理出席）、福田委員

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第2次射水市観光振興計画に掲げた施策の実施状況について
 - (2) 令和6年 数値目標達成状況について
 - (3) 令和7年度以降の主な取組について
- 4 閉会

■議事

(委 員) 資料3「令和7年度以降の主な取組について」中の内川未来戦略会議の資料について、キャッチフレーズには「湊町」とあるが、今までは「港町」と統一して、まちづくりの方針を定めてきたように考える。今後は、「湊町」として、ブランディングをしていくという認識で良いか。

(事務局) 「湊町」としたのは、水辺空間と地域の暮らしが密接であることをよりイメージできるようにする意図である。

今後のブランディングについては、基本的に「湊町」を使用していくことになるが、その進め方については地域や事業者と検討していきたい。

(委 員) 資料1「第2次射水市観光振興計画に掲げた施策の実施状況について」中の「戦略1 観光資源の掘り起こし・磨き上げ」の中の「水辺空間周辺の魅力向上」に下条川沿いの取組について記載されているが、過去、下条川と内川を繋ぐ観光船が運航していた。今後、その取組について、実施予定はあるか。

(事務局) 観光船の実施業者からは、下条川は水深が浅く、船体が底について傷ついてしまうリスクもあり、その実施は難しいと聞いている。

(委 員) 現在、ユネスコ無形文化遺産への追加候補になっている新湊曳山祭りについて、文化財保存の所管課と連携して、引き続き地域資源の磨き上げに取り組んでいただきたい。

(委 員) 資料1「第2次射水市観光振興計画に掲げた施策の実施状況について」中の「戦略2 多様なニーズを捉えた観光基盤・受入体制の整備」の中の「県・各種団体等との連携」に、「ワンチームとやま」連携推進本部会議での事業検討とあるが、これはどのようなものか。

(事務局) 県内各市町村が連携して、スケールメリットを活かしながら、一体となって県内のあらゆる課題の解決に向けて取り組んでいく事業である。

(委 員) 県内の自治体が抱えている観光分野における課題は共通しているものが多く、それを共有し、一体となって課題解決に向けて取り組むことで、自治体同士の横のつながりの強化にも繋がっていると考えている。

(委 員) 資料1「第2次射水市観光振興計画に掲げた施策の実施状況について」中の「戦略2 多様なニーズを捉えた観光基盤・受入体制の整備」の中の「観光施設等における受入」とあるが、小杉駅に有人の観光案内所を設置してはどうか。

(事務局) 小杉駅は射水市の玄関口として機能していることは把握しているが、現在、その予定はない。例えば、新湊地区の川の駅では、土日祝日に限り、観光ボランティアガイドグループ「あゆの風」のボランティアガイドが常駐し、観光客に観光案内を行っている。小杉地区の観光ボランティアガイドグループ「つつじの会」に協力いただければ、同様に観光案内を行うことは可能かと考える。

(委員) 資料2「令和6年数値目標達成状況」について、観光消費額の現状は数値目標と大きく離れている。海王丸パークは年間80万人以上も観光客が訪れているにもかかわらず、観光消費額の増加に繋がっていないと考える。新しく店舗を構えるとなると、ハードルも高くなるので、定期的に市を開き、幅広く事業者を募集する等、海王丸パーク周辺での観光消費額の増加についても今後、ご検討いただきたい。

(委員) 資料1「第2次射水市観光振興計画に掲げた施策の実施状況について」中の「戦略1 観光資源の掘り起こし・磨き上げ」の中の「水辺空間周辺の魅力向上」にあるとおり、民間事業者が連携して、イベントを開催する流れができている。その中で、行政でも「いみず食泊割キャンペーン」を実施する等、観光客誘致に向けて取組をされているが、行政の事業と連携して、民間事業者でもその事業を盛り上げることができると考えている。その観点からも、行政と事業者がもっと情報共有をできる機会があれば良いかと考える。

(事務局) 事業者と連携して、さらなる観光客誘致に繋がれるように、情報発信を強化していく。